

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎46-2600 (10:00 ~ 18:00)
✉arcus@arcus-project.com
- ◎詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!

明けておめでとうござ
います。今回は、毎年恒例のヒ
ビノホスピタル開催のお知ら
せです。

ヒビノホスピタル(日比野
美術研究室付属病院放送
部) vol.73 @宇宙電波館(高
萩市)

各地の参加者との共同制作
を通じ、社会で芸術が機能す
る仕組みを提案しているアー
ティスト、日比野克彦による
ヒビノホスピタルは1999

年から続いており、毎年好評
のプログラムです。

内容は当日までのお楽し
み。今回の会場は県北の高萩
市です! どなたでも参加で
きます。ぜひ奮ってご参加く
ださい。

▼日時 1月20日(日)午後1時30
分~4時30分 ▼会場 茨城大
学宇宙科学教育研究センタ
宇宙電波館(さくら宇宙公園内
/高萩市石滝627-1) ▼
参加費 無料 ▼定員 先着
40人 ※要申込 ▼申込方法
電話またはメールで、氏名、住
所、連絡先、年齢、参加人数を
伝えて申し込む
※詳細はアーカスホームページ
で確認
▼申込・問合先 アーカスス
タジオ



●日比野克彦

1958年岐阜市生まれ。
東京藝術大学大学院修了。
同大学美術学部長、同大学先
端芸術表現科教授、岐阜県美
術館館長。

国際交流員 ルイーザさんの

MORIYA滞在記

人生ゲームに勝つ方法



子どもの頃、土曜日の夜
が最も好きのひとつときで
した。なぜなら、週1回の
ハッピーボードゲームの
夜が開催されたからです。
大家族だと、みんなが集
まって一緒に時間を過ご
すというのは難しいこと
ですが、毎週土曜日の夜
だけは家族全員がそろっ
ていました。おやつの香りと

サイコロの音と誰がインチキをしたかでもめるきょう
だいの声(インチキの多くは、一番下の妹でした)。その
平和な日々を、先日おもち屋で甥っ子へのクリスマス
プレゼント選びに悩んでいたときに、思い出しました。

よくあることですが、懐かしければ懐かしいほど、思
い出は頭の中で少し美化されるので、蘇ってきた思い
出の中では、お気に入りのゲームを現実とは少し違う
ように覚えていることに気づきました。子どもの頃あんな
に楽しくて、早く大人になりたいと思わせたあの「人
生ゲーム」は、今見れば、学費や税金や養育費のマスが
多いことに気づき、「人生ってこんなものかな」と不思議

に思いました。私たちは、無限の可能性の時代に生きて
いるのに、就職・結婚・子育てという人生の節目に
たどり着く圧迫のあまり、別の生き方もあることをあまり
意識していないと思います。その別の生き方をいくつ
か見せてくれたのは、友達でした。仕事に専念するた
めに、結婚や子育てを選択しなかった大学の先輩や、ド
イツ軍に入っているタトゥーだらけの友達、トランスジェ
ンダー*として人間の性の制限を超える、守谷で出会
った勇敢な親友。彼らの「人生ゲーム」が教えてくれた
ものは、幸せへの道は、多彩で多数ということです。

結局、人生ゲームというのは、ハッピー家の土曜日の夜
だけではなく、いつでもどこでも開催されています。しか
し、周りの目と期待を気にしているあまり、ゲームを楽し
むことを忘れてることが多いと思います。しかし、ボ
ードゲームと違い、本当の人生ゲームの終わりには勝者も
敗者もなく、どのような人生を送っても、終わ
りは皆が同じです。だから勝つ方法は、「今」を楽し
むしかないと思えます。周りの期待より、自分
自身の期待に応えるよう
に、胸張って自分の道
を進むことです。これは、後悔
しないための、私の人
生ゲームの遊び方です。

*トランスジェンダー 「生まれたと
きの性別と自分で認識している性
別が異なる人」といわれています

